



【挨拶をする山口執行委員長】

山口執行委員長は、3月28日から始まる浦上、長崎間の高架事業に関し、「工務センターの20人は諫早に挨拶を行った。続いて豊田長崎地区本部委員長は、「昨年の大会以降も退職者があり残念です。残された中でどう次世代に引き継いでいくかが目標。数少ない中で国労運動をきちんと残していく必要がある。組織拡大を最重要課題とし、いろんな意見を聞きながら頑張っていこう」と挨拶した。

討論では、行路の睡眠時間(秀島)、駅のエリア化(森)、嘱託社員の労働に関して(川口)、お客様の安全に関

御所副委員長が開会を宣言。議長に島田さんを選出し議事を進行了。2019年度の闘う運動方針が確立された。

加。2019年度の闘う運動方針が確立された。

国労長崎分会の第4回定期大会が1月14日、長崎市「交通会館3階会議室」で開催された。大会構成員のほか、来賓、関係者約30人が参加。

組織拡大が最重要課題 第4回国労長崎分会定期大会

2019年度 長崎分会役員

執行委員長	山口 晃	長崎工務センター
副執行委員長	御所 義治	長崎乗務センター
書記長	宇都宮 篤志	長崎乗務センター
執行委員	俵坂 正登	長崎乗務センター
々	森 幸久	JR九州 S.S (株)
々	米満 雄一郎	長崎乗務センター
会計監査	荒木 義弘	長崎乗務センター



【退任の宅嶋執行委員】

役員改選では、宅嶋執行委員が退任された。(米満)

あつた。

業の補充について(神近)の発言があった。

して(荒木)、新事務所の駐車場について(俵坂)、パソコン作業の労働(今村)、諫早駅の問題(田中)、育児休暇の補充について(神近)の発言があった。



お疲れさまでした!

【12月に退職した江副さんの送別会を兼ねた交流会 1月14日「ミライザカ」】